地域の祭りでりんご販売

黒石青果センターは11月16日と17日、黒石市の「第33回黒石りんごまつり」でりんごの対面販売を行いました。県内各地から訪れる消費者にＪＡ管内で栽培されたりんごの魅力を伝えることを目的としています。

りんごは贈答用、特選品の「サンふじ」（1㌔／10㌔）、家庭用サンふじ（1㌔／20㌔）などを販売し、２日間で贈答用、特選品、家庭用合わせて443箱を販売しました。

りんごを購入した来場者は「毎年ＪＡからりんごを購入して、親戚に送っている。孫のよろこぶ顔が楽しみ」と話しました。

来場者が購入したりんごを運ぶ職員

ジャンボおにぎりの完成を祝い万歳三唱をする関係者ら

ジャンボおにぎり完成

11月17日、藤崎町の「第12回ふじさき秋まつり」で恒例のジャンボおにぎりづくりを行いました。昨年デビューした県のブランド米「はれわたり」を初めて使用し、常盤支店管内のときわ良質米生産部会の部会員や、女性部員ら10人が作業を行いました。

10俵分（約600㌔）の米を、ピラミッド型の木枠に詰め込み形を整え、仕上げに海苔で作ったマスコットキャラクターの「ジャン坊くん」の顔と、はれわたりの文字を同町の平田博幸町長と小山内忠道常務が貼り付けた後、万歳三唱で完成を祝しました。

令和６年産桃精算報告会

青果部は11月27日、本店で令和６年産桃精算報告会を開きました。今年産の販売額は１億8225万円（前年対比95.2㌫）、入庫数量は４万6662箱（前年対比130.3㌫）となりました。

今年は収穫適期である８月に雨が多かったことから、収穫のタイミングが非常に難しい年になりました。また、病害虫については、穿孔細菌病やダニが散見された他に、虫害のナシマル（サンホーゼ）カイガラムシの吸汁被害も確認され、次年度はりんご同様の防除対策が必要と考えられます。

販売額などを確認した報告会